

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【公開番号】特開2011-152846(P2011-152846A)

【公開日】平成23年8月11日(2011.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2011-032

【出願番号】特願2010-15181(P2010-15181)

【国際特許分類】

B 6 0 R 16/02 (2006.01)

H 0 2 G 3/08 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 16/02 6 1 0 B

H 0 2 G 3/08 M

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月18日(2012.7.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

他部品に取り付ける電装部品とこの電装部品に取り付けられて該電装部品を前記他部品に固定するためのプラケットとを備えた電装部品の被水防止構造において、前記プラケットには排水を行うための段部を設けたこと特徴とする電装部品の被水防止構造。

【請求項2】

前記電装部品は、該電装部品の外側に突出し互いに平行に延設されて前記プラケットの挿入をガイドする一対のガイド溝と前記プラケットを所定位置に保持するための一対のフランジとからなる一対の嵌合部と、前記一対のガイド溝間に位置して外側に突出する係合部とを備え、

前記プラケットは、前記他部品に取り付けるための取付孔を有する取付面材を有し且つこの取付面材と前記係合部に係合する係合孔を有する係合面材とを一端で接続して構成されるとともに、前記一対のガイド溝の延設方向の一端から挿入されて前記一対のガイド溝に係合したまま前記係合孔が前記係合部に係合する構造を備え、前記段部は、前記取付面材に接続された前記係合面材の一端に沿って設けられ且つ前記プラケットを前記他部品に取り付けた状態で前記係合面材の周辺部位よりも低い位置に存在することを特徴とする請求項1に記載の電装部品の被水防止構造。

【請求項3】

前記プラケットは前記係合孔に接続されて長手方向に通したビードを有し、このビードは前記一対の嵌合部によって保持された前記プラケットの係合面材の面よりも前記電装部品から離れる方向に凸形となる形状を有し、前記係合孔の一部が前記係合部と係合することを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の電装部品の被水防止構造。

【請求項4】

前記プラケットの係合孔を有する係合面材は、前記電装部品への取り付け時に前記一対の嵌合部に当接することで、前記プラケットの過剰な挿入を防止するためのエッジ部を有することを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載の電装部品の被水防止構造。

【請求項5】

前記プラケットの段部には、凸構造若しくは切欠部を設けたことを特徴とする請求項1

~ 請求項 4 のいずれか 1 項に記載の電装部品の被水防止構造。